

◎道路維持の経費

道路維持補修事業

【 都市整備総務課・道路整備課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【事業の内容】

(1) 道路維持補修事業

・委託、請負による道路の維持補修を行い、安全で円滑な通行を確保すると共に、事故防止に努めた。(市道035-026号線、市道025-000号線、市道055-000号線外を実施した。)
・市道053-101号線の階段復旧工事は実施出来なかった。

(2) 特殊地下壕対策事業

・特殊地下壕について現況調査を実施し、その結果を基に安全性が確保される適切な方法により地下壕の埋め戻しを実施した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
153,072	147,072	132,231		14,841
主な支出内訳				
・ 道路維持補修事業				
崩落土処分等業務委託料				8,525
内訳	崩落土処分及び倒木等	4件		3,030
	調査業務委託	2件		5,495
道路維持修繕工事請負費				121,218
内訳	鎌倉山二丁目15番 先	アスファルト舗装工 A=1,496㎡、排水工 L=323.5m		29,743
	浄明寺二丁目2番 先	アスファルト舗装工 A=269㎡、排水工 L=168.7m		10,708
	大船三丁目16番 先	アスファルト舗装工 A=221㎡、排水工 L=170.8m		9,024
	常盤82番地 先外	アスファルト舗装工 A=574㎡、排水工 L=41.8m		15,750
	上町屋685番地 先	アスファルト舗装工 A=62㎡、排水工 L=23.8m		2,431
	雪ノ下一丁目9番 先	アスファルト舗装工 A=147㎡ 排水工 L=80.8m		8,587
	二階堂373番地 先	アスファルト舗装工 A=1,084㎡		5,250
	城廻100番地 先	アスファルト舗装工 A=899㎡		3,216
	材木座一丁目11番 先	排水工 L=210m		3,381
	笹目町5番 先外	アスファルト舗装工 A=502㎡、排水工 L=122.5m		7,770
	常盤528番地 先	アスファルト舗装工 A=1,302㎡、薄層カラー舗装工 A=282㎡		7,550
	大船一丁目9番 先外	アスファルト舗装工 A=213㎡、排水工 L=87.1m		4,998
	大船二丁目1番 先	アスファルト舗装工 A=1,169㎡		6,090
	七里ガ浜東二丁目2番 先	アスファルト舗装工 A=1,080㎡		6,720
・ 特殊地下壕対策事業				
特殊地下壕調査委託料				1,711
特殊地下壕埋戻し工事請負費				777
主な特定財源				
・ 国県支出金				1,243

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 特になし
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	特になし
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 特になし
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 特になし

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	埋め戻しの要望があった場合や埋め戻しが必要な特殊地下壕を新たに発見した場合は、制度の対象となるか否かを判断し、速やかに対応していく。				
担当課長氏名:		都市整備総務課長 小磯 一彦			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	現状を維持し、円滑に業務を行う。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ※市域全域の道路及び道路施設は、整備後、相当の年数が経過しており、その補修要望の内容も幅広く、件数も多く、その対応に苦慮している。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ※多くの補修要望は、その要望内容及び状況に応じて、作業センターとの連携を図り、有効かつ効率的な対応に努めた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ※要望の箇所及び内容が多岐にわたり、また抜本的な改修を行うべき要望箇所も多いことから、当該年度内での対応が図れず、次年度以降の対応とせざるを得ない案件も多数あった。また、これまでの累積案件についても処理できなかったものもあった。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ※道路及び道路施設を調査し、維持補修の優先順位をつける。 ※作業センターとの連携をよりいっそう強化し、要望内容を精査し、有効かつ効率的な対応を図っていきたい。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	市域内の多くの道路の経年劣化が進んでおり、道路利用者の利便性や安全性を脅かす可能性があり、多岐にわたる要望が寄せられていることから、道路の維持管理の拡充が必要である。				
担当課長氏名:		道路整備課長 坂巻龍馬			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	道路を良好に維持し、生活基盤の安全性を確保するため事業を拡充する。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		